

栄養教諭・学校栄養職員研究部

1 研究主題

「食や命の大切さに気づき、生涯にわたり自ら健康的な生活をおくることができる子ども」の育成

2 研究主題について：栄養教諭・学校栄養職員が考える横浜の目指す子ども像を基に研究

3 研究方法（集合できない場合は、オンライン会議ツールを活用）

（1）食に関する指導部

① 指導計画班

- ・食育全体指導計画グループ：学習指導要領に沿った横浜市版食育全体計画の研究
- ・小中ネットワークグループ：小中一貫を目指した食の指導内容の研究

② 授業計画班

- ・家庭科グループ：家庭科での学習の中で栄養教諭・学校栄養職員の専門性を生かし、食育のねらいを達成できる授業方法の研究
- ・特別活動グループ：特別活動 学級活動（2）において、自分のからだや食と健康の関わりを知り、自己管理できる子どもを育成できる授業方法の研究
- ・体育科保健グループ：体育科保健領域において、栄養教諭・学校栄養職員の専門性を生かした、食育のねらいを達成できる授業方法の研究

③ 個別指導研究班

：子ども達が健康的な生活をおくることができ、一人ひとりの特性や能力に合わせた食に関する支援の方法について研究

（2）給食運営管理部

① 献立研究班

：児童に喜ばれ、食育において生きた教材となる献立の研究
横浜市の食育の目標に基づいた教材となる基準献立の研究

② 情報処理班

- ・ホームページグループ：健康な生活を送ることができる子どもの育成を目指した Web ページの研究
- ・調査統計グループ：横浜市の食に関する課題や実態を把握することにより、健康な子どもを育成するための手立ての研究

③ 施設衛生班

：安全で衛生的に給食を提供するための給食室における衛生管理についての研究

4 年間活動報告

4月 紙面総会

5月・6月・7月・9月・10月・11月・12月・2月・3月 各専門部研究推進・運営委員会

6月 第一次教育研究大会（12月に延期）

12月 市一斉授業研究会 事前録画後、各自視聴し、研究協議はリモートにて実施

2月 第二次教育研究大会（来年度に延期）

・学校栄養職員研修

- ・新採用学校栄養職員 授業研究会

寺尾小学校・浦島小学校・富士見台小学校・永野小学校・屏風ヶ浦小学校・富岡小学校

日吉台小学校・美しが丘東小学校・市が尾小学校・東山田小学校

・3年次 授業研究会

平安小学校・神大寺小学校・本宿小学校・東綱島小学校・茅ヶ崎小学校・品濃小学校

獅子ヶ谷小学校

5 研究の成果と課題

○第二次教育研究大会（献立研究班 来年度に延期）

○市一斉授業研究会（体育科保健）

東部 馬場小学校 西部 三ツ境小学校

体育科保健領域の目標を踏まえ、学級担任・養護教諭などと連携した授業づくり、事前・事後指導の内容や時間確保について研究を進めることができた。また、給食を「生きた教材」として体育科保健領域の中で活用したり、関連した食育指導や事前指導を行ったりすることで、専門職として児童に寄り添い、児童の実態に応じた学習内容や理解を深めることができた。

市一斉授業研究会では、東部・西部ともに、授業計画から綿密な検討を重ね、学級担任・養護教諭と連携して、児童の「主体的・対話的・深い学び」に繋がる授業を展開することができた。児童の発言・学習カードの記入内容からは、日々の食育指導の積み重ねや事前指導の成果を読み取ることができた。さらに、専門性を生かした教材の提示やICT機器を活用した指導を行うこともできた。

また、研究協議・指導講評の中でも、本時の目標を達成するためのおさえが明確であり、単元としてのスタートとゴールが分かりやすく流れのある授業であった。事前学習や今までの学習の積み重ねが生きていた授業であり、栄養教諭・学校栄養職員が関わることで説得力をもたせることができていた。学級担任・養護教諭などと役割や目標が共有されており、「主体的・対話的・深い学び」ができる場の設定や教材が用意されていた。そのため、児童が自分ごととして捉え、自分の生活や健康課題を重ね合わせて考えることができる授業となっていることも評価された。

今年度は新たな研究会の開催方法としてオンラインでの研究協議会に向けて検討を行い、無事に開催する事ができた。コロナ禍での研究推進に向けて、ICT機器を活用した研究会の方法を見出すことができた。

引き続き、体育科保健領域における「児童自身に問題意識をもたせる方法」や「話し合い活動」についての研究も深め、課題解決を取り入れた指導案や授業展開についても探していきたい。体育科保健領域の目標に沿った指導や食育の視点を取り入れた授業を実践できるよう研究を進め、来年度の市一斉授業研究会に臨みたい。また、状況に応じて、授業研究会の実施方法についてもさらに検討し、工夫する必要がある来年度の課題である。